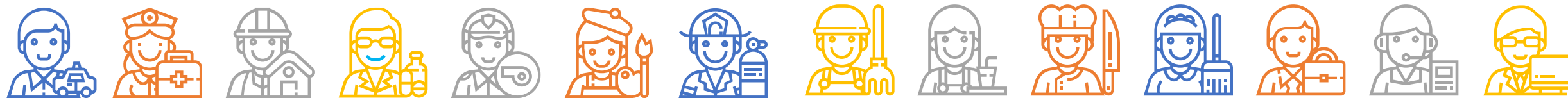


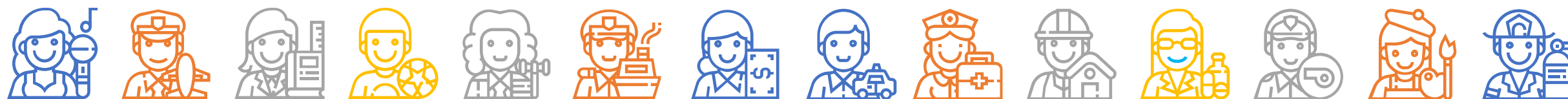
社会を支える人々へ みんなの“ありがとう”プロジェクト



この長いパンデミックな状況においては医療従事者はもちろん、教育現場の先生方、社会インフラを支える人々、スーパーなどの販売業の人々、飲食店の人々など、様々な業種の方々の感染症に立ち向かうための日々の努力により私たちの生活は支えられています。また貴方のご家族や友人、周りの方々、一人ひとりの努力により、更なる感染拡大から社会を守ってもらっています。

そんなあなたの感謝の気持ちを“形”として届けませんか？

長い自粛においては、人と人の物理的距離は少し遠くなりましたが、感謝を伝えることで心の距離を縮め、この苦しい自粛をみんなで努力をして、乗り切っていくための足がかりの一つになることを目指し、プロジェクトを始動します。



例えば「毎日消毒をしてくれてありがとう」と学校の先生へのメッセージ。「感染対策しながらも、おばあちゃんのケアをありがとう」と介護者へ。「お店での感染対策ありがとう」と飲食店や理髪店の皆様に。画用紙に感謝の気持ちを記載して、感謝の笑顔と一緒に写真を送っていただいても素敵ですね。皆様の素敵なアイデア、お待ちしております。

お願いしたいこと:本趣旨にご賛同いただける方は写真、文書などをメール(aoura@sapmed.ac.jp)で添付でお送りください。様式は指定しません。感謝する対象は自由です。出来ましたら”誰に感謝を伝えたいか”をご記載ください。

お送りいただいた写真等は、ポスターなどの成果物として市民への公衆衛生活動に活用します。ご提出いただいたことで本プロジェクトの趣旨に同意いただいたとさせていただきます。

問い合わせ先:札幌医科大学医学部公衆衛生学講座「学童における感染症予防研究班」大浦 麻絵

aoura@sapmed.ac.jp (テレワーク中です。メールでお問い合わせください) FAX:011-688-9585